

災害対応力を身につけよう!!

～災害時、自分自身の安全、地域の安全、守ることができますか?～



毛布がガウンに変身! 寒さも平気!

毎年「ひょうご安全の日推進事業」の一環として行っている防災イベント『災害対応力を身につけよう!』を2月11日、篠山市立城南小学校で開催します。

17年前、兵庫県を襲った阪神・淡路大震災。その経験と教訓を活かして、昨年3月11日に発生した東日本大震災では、発災直後直ちに被災地へ向かい、岩手県で医療救護活動を展開。こころのケア、救援物資の配布など、赤十字は様々な活動を行いました。

このイベントは、会場となる同小学校を災害現場と仮定し、グラウンドにエアテント等による救護所を設営、被災者の皆さんへの炊出しや救援物資の配布、ボランティアセンターの開設など、災害時に迅速に活動できるように、地域赤十字奉仕団、赤十字防災ボランティア、赤十字職員の合同実践訓練を兼ねています。

また、毛布をガウンにする方法、三角巾でのきずの手当やAEDを使った心肺蘇生ミニ講習など、地域の皆さまに災害時に役立つ知識と技術を楽しむ身につけていただきます。お子様には赤十字の救護服を着て写真撮影やゲームコーナー等、大人から子供まで遊んで学べる企画を用意しています。

非常食の試食や救援物資の配布も行います。是非、皆さまも遊びに来てください。お待ちしております。

青少年赤十字提供プログラム

12月も様々なメニューを受けていただきました。阪神・淡路大震災の1.17を目前に、防災教育に取り組まれる学校もあります。

色々な形で子供たちに学校では聞けない話、体験出来ないことを学んでいただくために赤十字をご利用ください。



開催日	プログラム	場所
12月1日	福祉教育	神戸市立福住小学校
12月2日	防災教育	宝塚市立逆瀬台小学校
12月6日	健康・安全	宝塚市立長尾小学校
12月7日	国際理解・平和	高砂市立高砂小学校
12月8日	健康・安全	高砂市立荒井中学校
12月12日	健康・安全	兵庫県立明石高等学校
12月15日	一次救命	兵庫県立星陵高等学校
12月15日	一次救命	兵庫県立伊川谷北高等学校
12月16日	一次救命	兵庫県立伊川谷北高等学校
12月16日	福祉教育	高砂市立北浜小学校
12月15日～21日	健康生活支援短期講習	親和中学校
12月20日	防災教育	兵庫県立鳴尾高等学校
12月21日	防災教育	兵庫県立家島高等学校
12月26日	一次救命	兵庫県立国際高等学校

講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

12月1日から一次救命処置が新しくなり、日本赤十字社は一人でも多くの人に講習を受けていただき、救えるいのちが増えることを願っています。

寒いからと言って外出をしなくても、家の中にも事故や急病を引き起こす原因は潜んでいます。皆さんは、大切な人のいのちと自分自身の安全、守ることができますか?

日本赤十字社では、ケガや病気、災害から自分自身を守り、けが人や病人を正しく救助し、救急隊員等へ引き継ぐまでの正しい知識、技術を学ぶ講習会を開催しています。

健康で安全な生活をおくるための基礎知識です。どうぞお気軽に受けてみてください。

内容	開催日
救急法救急員養成講習(2日間)	2月18日(土)・19日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)	2月4日(土)・5日(日)・11日(土)
	3月3日(土)・4日(日)・10日(土)
幼児安全法講習(3日間)	1月21日(土)・22日(日)・28日(土)
健康生活支援講習(3日間)	2月14日(火)・21日(火)・28日(火)

- 開催場所は、いずれも日本赤十字社兵庫県支部です。



パソコンから

詳細及びその他の講習についてはホームページで

赤十字 兵庫

検索

www.hyogo.jrc.or.jp



Contents

平成24年新春メッセージ

特集

「NHK海外たすけあい」街頭で呼びかけ!

- 地域赤十字奉仕団員研修会
- 兵庫県声の図書赤十字奉仕団交流会

- 災害対応力を身につけよう!!
- 青少年赤十字提供プログラム
- 講習のご案内



ひょうごの 赤十字

～創造と共生の舞台づくり～



支部長／兵庫県知事

井戸敏三

平成24年新春のご挨拶を申し上げます。

9ヶ月前の東日本大震災は、全国に大きな影響を及ぼしました。被災地は、ようやく復旧復興のスタートを切りました。17年前、阪神・淡路大震災を経験した私たちだけに、これまで同様、これからもできる支援を続けていきましょう。20年になるデフレ経済、円高の長期化など経済社会にも不透明感が広がっています。また、兵庫も人口減少社会に突入しました。しかも、高齢化、少子化、地域格差の拡大を伴っています。今だからこそ、将来不安のない社会的枠組みを再構築し、あわせて地域個性が発揮される元気な地域づくりを進めなければなりません。21世紀兵庫長期ビジョンが見直されました。めざす将来像は、「創造と共生の舞台・兵庫」です。今こそビジョン、高い目標をもち、これをめざして、ともに兵庫の未来を拓きましょう。

第1は、安全安心の基盤づくり。東海・東南海・南海地震や、頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、健康、福祉、食など、安心基盤を確保します。

第2は、質の高い生活づくり。若者の自律を応援し、出会い、子育て支援を進めます。地域づくり活動を拡げ、誰もが暮らしやすい社会をつくります。エネルギー供給の多様化も見据えた再生可能エネルギーの活用など自然と調和した生活を拡大します。

第3は、新時代の経済社会づくり。緊急経済・雇用対策を講じつつ、先端科学時技術基盤などの兵庫の強みを生かし、競争力を高め、新たな成長産業を振興します。また、TPP協定の議論を注視し、強い兵庫の「農」をそだてます。

第4は、地域の元気づくり。都市と農村との交流、地域再生大作戦のさらなる展開、交流と連携を支える社会基盤の整備を進めます。国出先機関の丸ごと移管など、正念場を迎える分権改革に、関西広域連合一丸となって取り組みます。

これからも、自立と連帯、安心と活力、継承と創造を基本に、明日の兵庫を築いていこうではありませんか。

夢を持ち 夢を求める 地域こそ 我が郷土で あるであれかし

特集

海外支援
キャンペーン



『NHK 海外たすけあい』街頭で呼びかけ！

～「たすけあい」の気持ち、そんな優しさを日本から世界へ～



12月27日、兵庫県赤十字奉仕団北野委員長から井戸支部長へ義援金が手渡されました

兵庫県支部では、12月1日から25日までの毎週土日、全8か所ですべて「NHK 海外たすけあい」キャンペーンの街頭募金を、赤十字奉仕団、青少年赤十字メンバー等、延べ250人が行いました。

12月に入り、寒さが日を追うごとに厳しくなってきましたが、街頭で「東日本大震災では多くの国々から支援

をいただきました。今回のキャンペーンは世界の皆さまへの奥返しです。ご協力お願いします。」と呼び掛ける声に、道行く多くの皆さんが足を止め、募金活動に協力してくださいました。

被災国であっても、世界の苦しんでいる人々への関心を失うことなく支援の輪を広げていく、そんな優しさを日本から世界へ届けるために、兵庫の赤十字が一つになって1カ月間、呼び掛けを続けました。

皆さまからご協力いただいた募金総額は、次号掲載させていただきます。



研修報告



地域赤十字奉仕団員研修会

～充実した奉仕団活動を行っていく知識を身につけるために～

兵庫県支部では、「赤十字活動をさらに理解し、今後の奉仕団活動の充実を期するため必要な知識等を身に付ける」ことを目的として、北播磨、但馬・丹波、東播磨・中播磨、西播磨、神戸・阪神・淡路の五つの地域に分け、地域赤十字奉仕団員研修会を行っています。

今年度も10月13日の北播磨地域を皮切りに、最終12月1日の神戸・阪神・淡路地域の各奉仕団がそれぞれの会場で研修会を開催しました。

研修内容は、「赤十字の歴史、赤十字社の誕生について」「赤十字の基本原則について」「国際赤十字について」と、一見難しそうな講義ですが、赤十字活動指導講師の方々に、赤十字を分かり易く話していただきました。

昼食も研修の一環で、アルファ化米の作り方を勉強し、災害時に赤十字の救護班が食べるものと同じご飯の試食をしました。ここでは、お湯を入れるだけという手間の少なさに加え、「意外と美味しいわ」ということで、おかわりをされる団員の姿も。

午後からは、災害時にも役立つ応急手当に、三角巾を使ったぎずの手当て等を習います。皆さん、やっていくうちに「スカーフでも代用できるんじゃない？」など、色々なことに気付かれ、興味を持って取り組んでおられました。

4時間30分があっという間に過ぎ、帰られる時には、「楽しかったわ」「家でもう一回、主人相手に練習してみるわね」と、とても楽しく有意義な時間を過ごされたようです。

今後の地域奉仕団の活動に、この研修が活かさせていただけることを期待します。



三角巾を手に、これを今からどう使うの？



講義で楽しく赤十字を理解しました

交流会
開催



兵庫県声の図書赤十字奉仕団交流会

～今年も楽しい出会いとふれあい～



全員での合唱はとても楽しく気分良く



新しい機器の紹介も大盛況でした

11月23日、支部7階大会議室で、リスナーと奉仕団員等総勢160人を超える出席のもと、交流会を開催しました。

政委員長の挨拶でスタート。この交流会を始めるきっかけとなった当時の思い出話を交え、21年間も続けてこられたことの意味を感慨深げに話されました。続いて、リスナー代表の挨拶や支部奉仕課長から祝辞の後、参加者の皆さんは、楽しく歓談をしながら美味しい昼食をいただきました。

昼食の後は恒例のお楽しみ会。まずは、奉仕課長による『東日本大震災における兵庫県支部の救護活動について』と題する講演です。赤十字の救援活動の概要と、姫路赤十字病院から救護員として派遣されたインドネシア人のスワルティ看護士の避難所での活躍とエピソードを披露しました。

東日本大震災の話に聞き入った後は、ガラリと雰囲気を変え、『みわの会』の皆さんによる琴の演奏です。誰もが知っている名曲の演奏や、琴に由来するお話を織り交ぜながら、雅な世界を満喫しました。

心が豊かになったところで、リスナー同士や奉仕団員との歓談の時間に移り、弾んだ声が会場を包みました。

その他、デジタル機器への移行をサポートするために、ボランティアルームで開催したプレクストークの取扱説明へ大変多くのリスナーが訪れ、すべての方に対応出来ない程の盛況ぶりでした。

最後に、『今日の日はさようなら』を、今年は琴の伴奏にのせて全員で合唱しました。普段会うことのできない方々と出会い、話をして、とても楽しいひと時を過ごされました。